

科目名	文章表現法	科目分類	■基礎教育科目 □専門教育科目
			□卒業必修 □栄養士必修 ■選択
		開講年次	■1年 □2年
英文表記	Composition	開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中
ふりがな	はしもと しほ	授業形態・修得単位	講義・2単位
担当教員名	橋元志保	実務家教員担当科目	
授業のテーマ	文章表現の基本を身につける。また読解力・表現力を磨き、深く考察できる力を涵養する。		
授業概要	<p>素晴らしい文章とは、いったいどのような文章なのでしょう。それは、テーマや表現力、構成や語彙等が優れているだけでなく、自分自身の価値観、信念、心のありようが表れている文章だと思います。「文は人なり」という有名な言葉がありますが、文章を書くことは自分自身を表現し、見つめ直すことにも繋がるのです。</p> <p>本講義では、自分自身の考えを明確に伝え、また論理的な文章が書けるようになるために、様々なことを学んでいきます。具体的には、テーマや構成、論拠と資料の探し方、叙述の方法、推敲の大切さ等、文章上達のためのポイントをわかりやすくお話しします。また、公務員等の就職試験には必ず必要な、論文対策、時事問題の知識等も併せて学んでいきます。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. レポートや論文等を書くための、論理的な文章の基本スキルを身につけることができる。</li> <li>2. 履歴書やエントリーシートの書き方、効果的な自己PRを身につけることができる。</li> <li>3. 公務員試験（地方上級職・警察官他）の論文試験に取り組むことができるレベルの、時事問題の知識や表現力等を身につけることができる。</li> </ol>		
授業時間外の学習	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 段階的に難易度を上げて、読む力・考える力・書く力を養成するので、テキストの予習や配布された資料の復習を怠らず、課題プリントも毎回必ずやりましょう（2時間程度）。</li> <li>2. 時事問題を学ぶために、ニュースや新聞を読む習慣を身につけましょう（1時間程度）。</li> </ol>		
履修条件	特になし		
授業計画			
第1回	テーマ：より良い文章を書くために一心に響く言葉ー		
第2回	テーマ：日本語表現のセンスを磨くー多読のすすめー		
第3回	テーマ：コンポジションの方法Ⅰーテーマと構成についてー		
第4回	テーマ：コンポジションの方法Ⅱー文章の材料・参考文献の集め方についてー		
第5回	テーマ：コンポジションの方法Ⅲー叙述の方法ー		
第6回	テーマ：コンポジションの方法Ⅳー推敲の方法ー		
第7回	テーマ：国語力を高めようⅠーレポートの書き方及び表現上のルールー		
第8回	テーマ：国語力を高めようⅡー履歴書・エントリーシートの書き方ー		
第9回	テーマ：小論文を書いてみようⅠー引用と要約についてー		
第10回	テーマ：小論文を書いてみようⅡー三段構成法とはー		
第11回	テーマ：推敲の極意ー削るとのことー		
第12回	テーマ：時事問題の学び方Ⅰー格差社会についてー		
第13回	テーマ：時事問題の学び方Ⅱー子どもの貧困ー		
第14回	テーマ：時事問題の学び方Ⅲー社会貢献とNPOー		
第15回	テーマ：時事問題の学び方Ⅳー少子高齢化社会についてー		
第16回	定期試験		
テキスト	速水博司『大学生のための文章表現入門』（蒼丘書林 2002）		
参考文献・資料	授業時に紹介します。吉岡友治『論文試験 頻出テーマのまとめ方』（実務教育出版 2014年）保坂弘司『レポート・小論文・卒論の書き方』（講談社学術文庫 1978年）他		
成績評価の方法	【毎回の課題の提出（30%）、主体的な学びの姿勢（10%）、試験（60%）の総合評価とします】。 ① 出席回数が規定に満たなかった場合、及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。 ② 講義中に無許可で退出した場合は、欠席とします。		
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)		
オフィスアワー	水曜日 14:40～16:10 木曜日 14:40～16:10 ※これ以外の時間帯は事前に予約してください。		
受講生に望むこと・受講のルール	国語力を磨くことは、授業やレポート・論文の作成に役立つだけでなく、就職活動でも大きな強みになります。ぜひ、しっかりと文章力・表現力を身につけてください。		